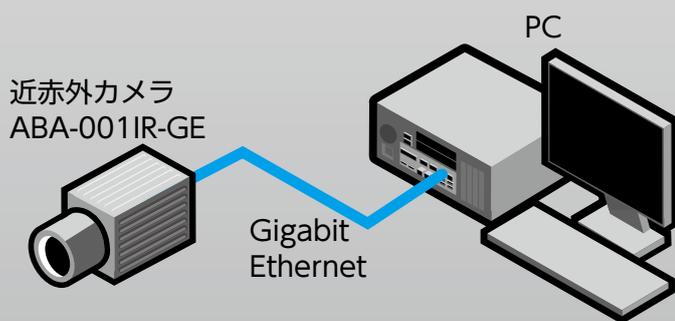


ビームプロファイラ with M2 プラットフォームソフト LaseViewは、ABA-001IR-GEと汎用PCをビームプロファイラとして利用することができる、高機能で汎用的なレーザービームプロファイラのソフトウェアです。極めて低コストかつ実用的なビーム計測システムを容易に構築することができます。

■ Lase Viewの特長

- リボンUIユーザインタフェース
- 画像ロギング機能
- ビームポインティング経時変化の解析
- ビーム広がり角の解析
- ヒストグラム表示
- ビームの空間的な強度分布の測定
- ビーム径の測定
- M2の測定
- 100 μm ~ 5mm以下の微小ビームの測定
- オプションで100 μm以下の微小ビームの測定
- リアルタイムな画像平均化機能
- リアルタイムなコントラスト調整機能 (16 bit, 65536階調の広いダイナミックレンジ)
- 画像バッファ機能 (複数の画像をメモリ上に蓄積し順次表示可能)
- TIFF形式での画像保存機能
- ハードウェア・アクセラレーションによるスムーズな表示機能
- 32 bitおよび64 bit Windowsに対応

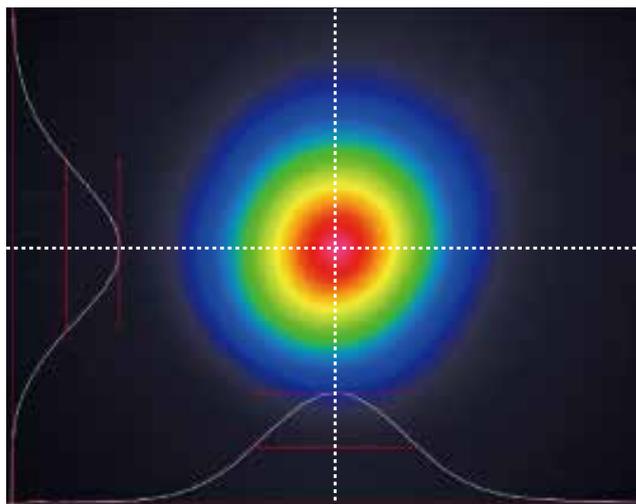


LaseView は株式会社光響の製品です。

LaseView-CA-SWIR

■ 解析機能

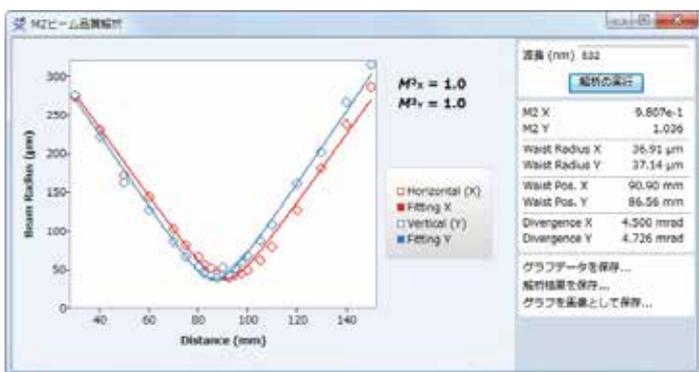
- ラインプロファイル (Line Profile)
 - 十字線上のラインプロファイル表示
 - (Gauss、Lorentz、Sech 関数フィッティング及び FWHM 解析機能付き)
- 積分プロファイル (Integration Profile)
 - 水平/垂直方向
- 最大値投影プロファイル (Max. Intensity Projection)
 - 水平/垂直方向の正射影 (最大値) プロファイルの表示
 - (ラインプロファイルと同様の解析機能付き)
- 2 点間距離 (Point-Point Distance)
 - 画面上で任意の 2 点間距離の測定
- ピーク積分 (Peak Integration)
 - 円外をバックグラウンドとして円内の積分値の解析とカーソル上の光強度を解析



近赤外レーザーの遠視野像のラインプロファイル

■ LaseView による M2 の測定

測定したいレーザーのビームウエストの位置に CCD カメラを配置しスライドさせることで、簡単に M2 を測定することができます。



M2 の解析結果例

■ 動作環境

- Windows 7
- Windows 8、Windows 8.1
- Windows 10
- CPU 速度：Intel 社製 Core i3 2GHz 又は他社同等以上
- 空きメモリ：512MB 以上

※ ただし、この環境を満たすすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。 ※ ソフトウェアの動作には、.NET Framework 4.5 以上が必要で

近赤外 QVGA カメラ ABA-001IR-GE



LaseView 開発・発売元

Kokyo

株式会社光響

京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町 637 番地 第 5 長谷ビル 2 階

Email : info@symphotony.com TEL :070-6925-5558

AVAL DATA CORPORATION

株式会社アバールデータ 〒194-0023 東京都町田市旭町1-25-10

お問い合わせ先電話
本社:042-732-1030

お問い合わせ先FAX
本社:042-732-1032

Eメール
sales@avaldata.co.jp

ホームページ
http://www.avaldata.co.jp

JPX

※当社は 品質システム ISO9001、環境システム ISO14001の認証を取得しています。

東京JASDAQ上場
証券コード6918

2015年08月現在

©Opt-Linkはアバールデータの登録商標です。©本カタログに記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

製品使用上のご注意 ©仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。©正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みいただき、製品保証範囲内でご使用ください。